

事業所名

エント上福岡事業所

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念		聴覚障害/発達特性によるコミュニケーションの壁を乗り越える。 「子どもたちには、義務教育を終えて社会に出る際に可能な限り沢山の選択肢の中から自分の成りたいものになれるように、自分で選ぶことができるようになってほしい。」					
支援方針		個別指導による聴覚活用・言語発達の促進・コミュニケーション場面での対応力を身に付けられるように支援をしていきます。 個別指導で身に付けた能力を小集団による指導で園や学校での生活や学習に応用できるように支援をしていきます。					
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善 ②生活のリズムや生活習慣の形成 ③基本的な生活スキルの獲得 エントでは特に低年齢のお子さんの支援において大切にしている項目です。 食事や睡眠などのお世話をすることは乳幼児期において親子の愛着形成や身体的な成長と発達に大きな影響を与えます。親子が適切に愛着形成できるように支援をしていきます。					
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ③身体の移動能力の向上 ④保有する感覚の活用 ⑤感覚の補助及び代行手段の活用 ⑥感覚の特性への対応 運動・感覚の発達は認知面や言語面の発達の基礎になります。安定して座れなければ集中して活動に取り組みません。歩行など移動ができなければ興味関心が広がりにくくなります。 乳幼児期の内は身体接触や基本動作獲得の促しを行います。幼児・学齢期は実際に見て聴いて触れてという経験を大切にすることで、認知面や言語面の発達を促進します。					
	認知・行動	①認知の特性についての理解と対応 ②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ③行動障害への予防及び対応 エントでは考えて実行する力を高めていきます。見て考える・聴いて考える・読んで考えるなど子どもたちがどのような方法で考える事が得意で、どのような考え方が苦手なのかを評価します。また、思い通りにならないストレスで感情が昂り不適切な行動を取ってしまう事もあります。自分の得意・不得意を知ることや、周囲の状況を判断できる力は社会性・コミュニケーション力の向上に繋がります。					
	言語 コミュニケーション	①コミュニケーションの基礎的能力の向上 ②言語の受容と表出 ③言語の形成と活用 ④人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ⑤コミュニケーション手段の選択と活用 ⑥状況に応じたコミュニケーション ⑦読み書き能力の向上 生活に必要な言語の獲得は指示をしたり、指示を受けたりと家庭や園生活での行動やコミュニケーションに直結します。言語を介したやり取りをすることで、感情の変化や過去や未来の事象を伝えられるようになります。学齢期以降は学習やコミュニケーションに言語が欠かせなくなります。自身や周囲の状況を適切に把握し説明する言語力の獲得を支援します。					
	人間関係 社会性	①アタッチメント(愛着)の形成と安定 ②遊びを通じた社会性の発達 ③自己の理解と行動の調整 ④仲間づくりと集団への参加 乳幼児期の母子関係の形成は成長・発達の基礎になります。愛着の形成から周囲へ興味関心を広げ、保護者以外のコミュニケーション相手に注意を向けられるように支援します。 幼児期から学齢期では自己理解や他者理解を促し、自分の伝えたい事、伝える為の手段、相手の知りたい事、相手がわかる手段を考え・工夫し円滑なコミュニケーションが取れる事を目標とします。					
家族支援		お子さんの特性理解と、お子さんに適した関わり方を学んでいただきたいと考えています。訓練場面の見学や相談支援などを行っています。		移行支援		保育園・幼稚園・学校で必要なお子さんの特性に配慮した関わり方や環境調整の指導を書面や現場で行います。学齢期のお子さんには自分で伝えられるよう自己認識の支援もします。	
地域支援・地域連携		ろう学園・療育施設・医療機関・学校・幼稚園/保育園との情報連携を行っています。担当者会議等の参加や支援の啓発活動も行っていきます。		職員の質の向上		事業所内カンファレンスや研修会、外部研修会への参加をしています。	
主な行事等		保護者向け学習会や、児童の体験講座などを不定期に実施しています。					